

令和2年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和2年7月20日（月） 午後2時から午後3時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 7階 講座室1・2

3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 安藤 陽 副委員長
- ③ 五十嵐 裕子 委員
- ④ 井上 直也 委員
- ⑤ 岡崎 滋 委員
- ⑥ 桑原 静 委員
- ⑦ 寺田 道子 委員
- ⑧ 難波 陽子 委員
- ⑨ 平田 利雄 委員
- ⑩ 山崎 秀雄 委員

〈事務局：7名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|--------------|-------|
| ① 館長 | 吉田 治士 |
| ② 参事兼副館長 | 中村 和哉 |
| ③ 参与 | 野崎 隆史 |
| ④ 主幹兼事業・企画係長 | 有江 良修 |
| ⑤ 事業・企画係主査 | 榎 進吾 |
| ⑥ 社会教育指導員 | 伊藤 紀子 |
| ⑦ 社会教育指導員 | 渡邊 京子 |

4 欠席者名

〈委員：1名〉

- ① 青木 光美 委員

5 協議事項

- (1) 令和元年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和3年度さいたま市民大学各コース(案)について

6 配布資料

事前配布資料

- (1) 令和元年度さいたま市民大学実施結果について【資料1】
- (2) 令和3年度さいたま市民大学各コース(案)について【資料2】
- (3) 令和3年度さいたま市民大学コース案の計画に向けて【資料3】
- (4) 令和2年度さいたま市民大学実施予定及び運営委員会について〔参考2〕

当日配布資料

- (1) 令和2年度第1回さいたま市民大学運営委員会次第
- (2) 令和2年度第1回さいたま市民大学運営委員会委員名簿
- (3) 令和2年度第1回さいたま市民大学運営委員会席次表
- (4) 令和2年度さいたま市民大学変更箇所一覧〔参考1〕
- (5) 令和2年度さいたま市民大学実施予定について〔参考3〕
- (6) 令和2年度さいたま市民大学募集案内
- (7) さいたま市民大学市民企画コース講座企画案募集チラシ

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 新任委員の紹介

生涯学習総合センターより、堀尾委員退任の報告及び新たに委員となられた井上委員の紹介。

10 報告事項

市民大学の新型コロナウイルス感染症による影響について、〔参考1〕に基づき、生涯学習総合センターより報告。

11 協議内容

会議冒頭、委員長より、新型コロナウイルス感染防止のため会議をより円滑に進行することを目的に、本日の会議中では、委員からの質疑応答は、協議事項(2)令和3年度さいたま市民大学各コース(案)についてのみ行うこととし、その他の項目は個別で事務局へ確認する旨提案があった。了承のうえ、協議事項を検討。

協議事項(1)令和元年度さいたま市民大学実施結果について、【資料1】に基づき、生涯学習総合センターより説明。

続いて、協議事項(2)令和3年度さいたま市民大学各コース(案)について、【資料2】、【資料3】に基づき、生涯学習総合センターより説明後、協議事項を検討。

神保委員長	新しい生活様式に伴い、来年度の枠組みは、従来の枠組みより少し変わったとの説明があった。ご質問ご意見があればお願いしたい。
桑原委員	新たな指標について。30代以下の受講生の増加を図るということだが、新しい生活様式に即して実施すると1,500人以上の減少を見込んでいるとのことで、この1,500人を30代以下で埋めるということか。何%増加という目標値があれば、聞かせてほしい。
榎事業・企画 係主査	1,500人を30代で埋めるということではない。新しい生活様式に即して計画すると、令和3年度は延べ人数が1,500人程度減ってしまう見込みとなり、コロナウイルス禍において、会場に多くの方にお越しいただくというのは限界がある。その代わりに、受講者の人数を増やすのではなく、30代以下の割合を増やしたい。具体的な目標値について、来年度からさいたま市総合振興計画が新しいものとなり、現在各所管で、それぞれの事業の目標等を設定している。今後については、具体的な数値は明確にしていらないが、昨年度の実績である7.2%を現在地点として、ここから少しでも増加に向けて進めていきたい。
神保委員長	人数設定はコロナのことも考えたらかなり難しい。参加人数を増やす目標より、世代を少し若返りしていく形の目標設定に、変えるという考え方か。その他、何かプログラムとか例えば内容についてとか、枠組みについてとか何かあるか。
岡崎委員	オンライン形式のコースの検討をしていることだが、オンラインで質疑応答ができる講演形式という、テレワークのようなイメージがあるが、市民全体ということ考えると、ハードの環境をお持ちの方、またそのようなオペレーションができる施設のある方と、いろいろ限られてくる。2WAYの形式は良いと思うが、それに加え動画配信も併せて考えると有益ではないか。
神保委員長	オンラインと同時に、動画も配信してというところか。
榎事業・企画 係主査	ライブで参加いただける方と、その時間に参加いただけない方もいるのではないかと思う。講座の内容にもよるが、参加いただけなかった方が後から視聴できる方法についても検討したい。
難波委員	後から見られるフォローも大事だと思うが、オンライン講座に関して、参加したいが設備環境が整っていない方や、あるけれども使い方がわからないという方を対象に、事前に使い方のプレ講座を準備し、オンライン講座の本講座をスタートするというのはどうか。
神保委員長	さいたま市は70、80代ぐらいの方が多くことや、Wi-Fiない問題等いろいろあると思うが、どういうプレ講座の準備を想定しているのか。
難波委員	Zoomのオンライン形式の講座となった時に、オンラインのイメ

	<p>ージがつかずに参加する気持ちになれない人、子供や孫と同居していて家にインターネット環境はあるが自分は使ったことがない人達をサポートするような事前準備の会をイメージした。</p>
吉田館長	<p>さいたま市の公民館では、すでに「e公民館」として各公民館が講座をY o u T u b e 動画形式で配信している。事前に統計を取ったが、約8, 5 0 0件視聴している。市民大学もトライアルコースとして、講座を配信しているので、もう少しアピールしていきたい。年配の方のZ o o mについては、ハードルが高いのではないかと考えている。インターネット、スマホ環境を分かっている方はできると思うが、できる方とできない方の格差があるということで、そこをどうしたら良いのかというのが一番悩み。どういう形でやっているのか、事例があれば教えていただきたい。</p>
桑原委員	<p>高齢者の方もオンラインでの講座など参加している。シニアの学ぶ場、働く場を専門にやっているのので、この数ヶ月いろんな実験してみたが、最初は抵抗感があるが、大体の人はできるようになる。インターネット環境がないのは仕方がないが、スカイプやG o o g l e M e e tなどはスマホやガラケーにも対応しているので、何かしらつなぐことはできる。最低2、3回教えれば、80代でもいける手応えは掴んだ。</p>
神保委員長	<p>普遍的な問題を1個やっても良いかなとは思っている。いわゆるSNSコンテンツの使い方っていうところかなと思うが、それはリアルで実施したのか。</p>
桑原委員	<p>リアルでグループのリーダーに教え、リーダーがグループ内で教えた。オンラインでお茶飲もう、飲み会しよう、オンラインで何か受けよう等の、テーマ性を持つことで、心理的ハードルを乗り越えられるのではないかな。</p>
寺田委員	<p>講座についての提案だが、新型コロナウイルスの影響で旅行が自由にできない状況。この機会に埼玉県の魅力や、さいたま市民大学で伝えられたら良いのではないかな。例えば、埼玉県はゆるキャラがたくさんいるので、それと関連付けて特産品や観光地を案内すれば、若い人も面白いかなと思うのではないかな。</p>
難波委員	<p>そうした内容をオンラインにすれば良いのではないかな。いろんな各地の映像を流すことは、対面より、直接画面に映った方が良いのではないかな。</p>
神保委員長	<p>バーチャル旅行のような感じか。アイデアも含めて検討いただきたい。</p>
安藤副委員長	<p>さいたま市のことを再認識する点で考えると、以前市民企画コース案公募の時に、さいたま市の観光ガイドにかかわる方々が、企画案を提案してきたことがあった。さいたま市の観光をテーマにして講師と</p>

	<p>してお願いしてはいかがか。</p> <p>教養コースで、新型コロナウイルス感染症の問題で企画を設けるのも良いが、どうなるか分からない状態で講座を企画するのは難しいかなと思うが、今回の問題は、社会のあり方が全く変わっていった1929年の大恐慌に匹敵するのではないかとよく言われている。少し長いスパンで見て、新しい生活様式を考えてみる切り口が一つあっても良いのではないか。</p>
神保委員長	<p>一つは市民企画の方で、例えば、そういう観光とかそういうのも合わせて、公募とか、一緒にできればというような話と、あともう一つが新しい生活様式というようなあり方とかそこら辺を踏まえて、教養コースもしくはビジネスコースところに織り込むかどうかというような話だと思うが、いかがか。</p>
榎事業・企画 係主査	<p>今年度から新たな受講者層の獲得ということで、新たなコースの一つとして観光・交通コースを計画した。観光交通コースⅢについては、先方の都合もあり、やむを得ず中止したが、日々刻々とコロナの方も状況が変わっているので、枠全体についても、今日いただいた意見を参考に、第2回の運営委員会で示ししたい。新型コロナウイルスの新しい生活様式ということで、教養コースの大まかなテーマの案の一つとして、今日の社会情勢を考えコロナを軸にしたコースは、市民の関心が高いと考えている。具体的にはコロナ×何かのような形で、例えばコロナ×医療やAI×創薬、コロナと経済でアフターコロナの経済、歴史だと大恐慌、ペストなどの感染症などをテーマとしたコースを一つ作れたら良いのではと考えている。</p>
平田委員	<p>ビジネススキルコースは来年度もMBAをもう1回やるのか。それなりに評価を上げているのではないか。3回目ともなれば内容も濃くなると思うので進めてほしい。来年度のビジネススキルコースは1・2という形で分けるので、うまく配分できれば良いのではないか。また特別講演のAIと5Gは非常に多くの人が集まったと思う。</p>
榎事業・企画 係主査	<p>ビジネススキルコースは昨年度、一昨年度とMBAを行い、今年度は基本的なところを学んでいただきたいというところでちょっと趣を変え設定をした。今後については、今いただいた意見や特別講演でのAI、5Gといったテクノロジーの話も、大変多くの興味関心をいただいたと認識しているので検討していきたい。</p>
神保委員長	<p>今年度の地域活性コースは、ビジネスパーソントップの方から色々お伺いするので、地域活性コースでありつつ、ビジネススキルコースも含まれているようなイメージを持っている。</p> <p>来年度のコース案の大枠についてはこの案で進め、多少の修正もあるかもしれないということで、本日の協議は以上としたい。</p>

12 その他

令和2年度さいたま市民大学実施状況について、及び運営委員会等のスケジュールについて、〔参考2〕、〔参考3〕に基づき、生涯学習総合センターより説明の後、閉会。

13 閉会